# 鎌ケ谷市市民活動推進センターだより

発行：鎌ヶ谷市市民活動推進センター　発行月：平成 26 年 3 月　No.32

特集・かまがや地域づくり
コーディネーター養成講座　第一期終了！

# かまがや地域づくりコーディネーター養成講座
# 第一期・終了しました！
# 22 名の方が修了証を手にしました。
# 修了者の感想の声を聞きました！

STEP1　鎌ケ谷の市民活動を知る　(6/23)
ゲスト・囃子水の自然を育てる会

普段は子育て主婦なので、託児システムはありがたかった。おかげで個人として皆さんとお話できたのがうれしかった。地域をこどもたちとゆっくり歩きながら、自治会の方々やいろいろな方々が地域のために活動している姿を見て、自分もなにか活動できたらいいなと思っています。

広報をみて応募。小学校関係と勘違い。
が、地域コーディネーターの役割、推進の仕方、活動のやり方を勉強させてもらいました。

毎回楽しく出席したが、参加者の意識の高さに影響をうけました。来年度、皆さんとより具体的な活動ができればいいなと思う。

STEP2　日常の暮らしの中から関係性を発見する　(7/20)
講師・加納プロマネ（鎌ケ谷市市民活動推進センター）

白井の里山のプロジェクトに惹かれた。人里近くにあって人々の生活と結びついたところが里山であると教えられた。鎌ケ谷にそういった場所があるのかわからないが、次年度は白井の活動のような具体的な課題があるのがよいと思う。

３回目からの出席です。自分探しのために、この講座に参加しました。色々教えていただいたことは、これからのやる気興しに繋がると思います。

STEP3　質問力を高める　ファシリテーター入門　(9/21)
講師・森良さん（エココミュニケーションセンター）

グループワークの体験型学習は、３回出席したなかで一番印象に残った。自分が車イスに乗ってみると、市役所がまったく違った場所に感じられた。
バリアフリーとはなにか？安心安全な場所を広げることを心がけたい。

STEP4　地域課題を発見する目を育てる
バリアフリー点検まちあるきワークショップ　（10/20）
講師・原田正隆さん（まちづくり商会）

今まで保育園や学童保育で育児保育ボランティアを経験してきたが、この講座を受けて自分に欠落していた部分が見えてきました。それは、自分１人で力んでいても、たかが知れていたんだなということです。
みんなといかに上手く解決にもっていくかという観点から白井の環境活動はすばらしい成果をあげていると感じました。初代の人たちが何もないところから活動して、その人達ではなく継承者たちがりっぱに育てていることに敬意を表します。

課題解決とともに合意形成の過程の大切さに気づいた。これからその方向で少し勉強していきたいと思います。

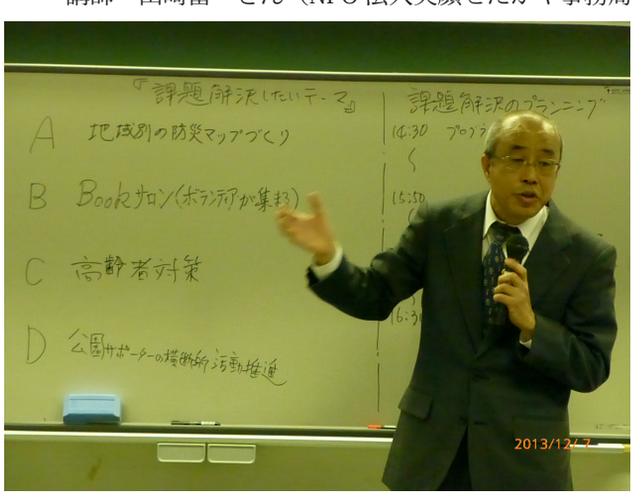
コーディネーター養成講座を５回目から受講しました。定年退職して、地域に目を向けてみると繋がりの大切さ、ひいては仲間づくりが必要だと思い参加しました。

定年前、職場ではこのような研修を度々経験したが、ここで初めて会った人と話し合うことはむずかしいことだなと感じた。この経験をボランティア活動に活かしたいなと思っています。

STEP5　近隣地域での成功事例に学ぶ
ゲスト・しろい環境塾　（10/20）

良かったと感じるが欲を言うならもう少し実践的な部分で市と一緒になってこれからの課題を解決していきたい。勉強と実践をしっかりやらなくてはいけないと思う。

STEP6　課題解決へ向けプランニングする（12/20）
講師・山崎富一さん（NPO 法人笑顔せたがや事務局長）

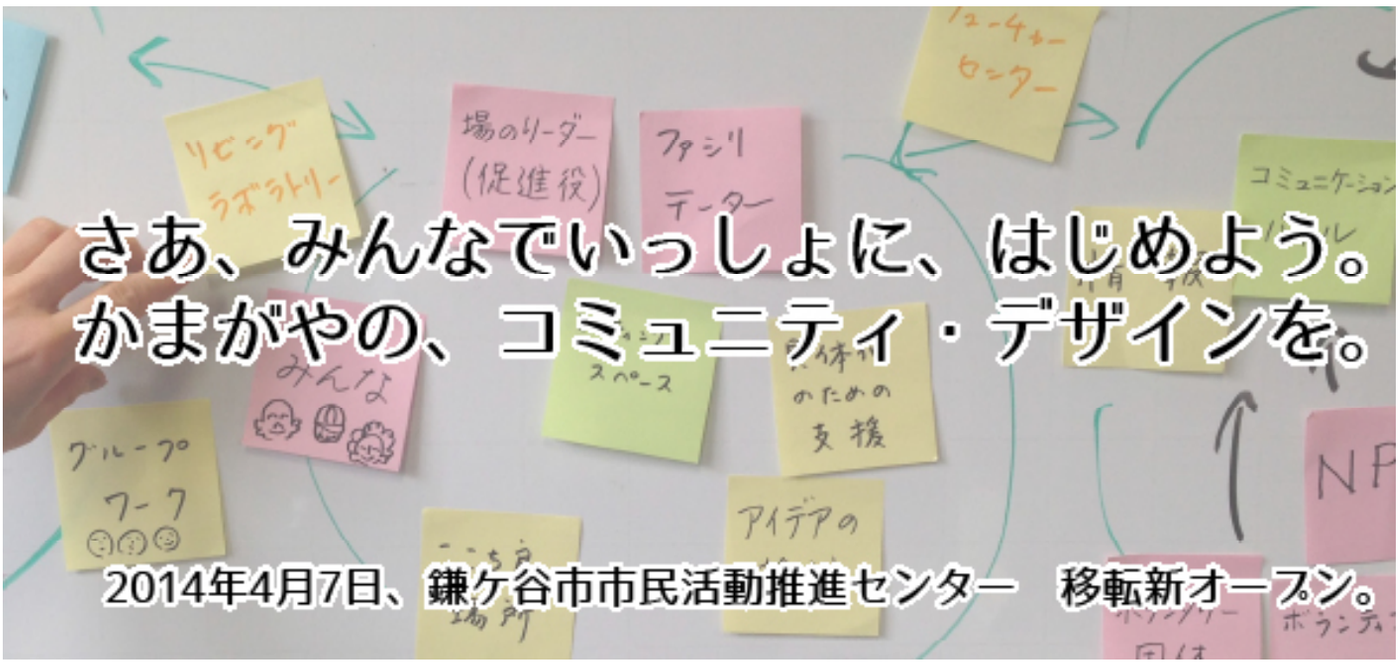



いくつかの団体を預かって代表を務めているので、その活動の進め方に関して勉強しました。
この講座からどういうステップで進んだらよいか、筋道がたったコーディネートが必要だとよく判りました。
今回の出席者とも仲間づくりをしたかったが、情報が少し足りなかったのが残念です。

修了式

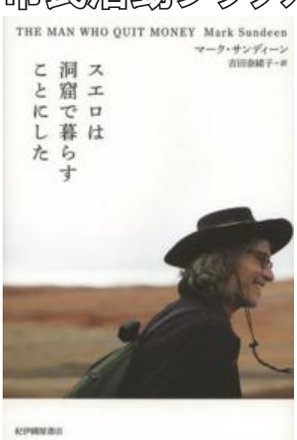
環境問題で幼稚園、エコ活動で小学校に活動に行っているが、校長先生の意識によって活動しやすさが影響される。市の協力がどんな活動にも必要だと感じる。

## NEWS!!




鎌ケ谷市市民活動推進センターは、「まなびぃプラザ」１階に開所以来、多くの皆さまにご利用いただいてきましたが、来年度より、初富駅前のショッピングプラザ鎌ケ谷３階、「きらり鎌ケ谷市民会館」に移転することになりました。新しい場所で、新たな気持ちで、鎌ケ谷の地域づくりの拠点を目指していきたいと思っています。皆様のご来所をお待ちしております。お気軽にお立ち寄りください。

## 市民活動ブックガイド




スエロは
洞窟で暮らすことにした

マーク・サンディーン・著
吉田 奈緒子・訳

アメリカの西部ユタ州に住むダニエル・スエロは、三十九歳のときに全財産三〇ドルを電話ボックスに置きざりにして以来、現在にいたるまでの十数年間、一切のお金をかせぐことも、受け取ることも、使うこともせずに暮らしています。本書は、保守的なキリスト教原理主義の家庭に育ったスエロが、大学で進歩的な思想に目ざめた後、社会福祉や海外援助の現場で世の中の矛盾に直面し、うつ病、自殺未遂、国内外放浪をへて、ありのままの自分を受け入れ、ついにお金と不安を同時に手ばなすにいたった道のりを綴ったノンフィクションです。

## スタッフから一言

当センターは 2006 年 10 月、まなびぃ 1 階に開所されました。そこから約 7 年半に亘り、市民活動を推進してまいりましたが、2014 年 4 月「ショッピングプラザ鎌ケ谷」に移転する運びとなりました。場所も新たに市民の皆様と共に歩んでいきたいと考えております。これからも当センターをどしどし活用していってください。（二瓶）

きらり鎌ケ谷市民会館への移転まであと 1 ヶ月余りとなりました。「センターをもっと知って頂き、より一層活用して頂きたい」と、スタッフ一同、新センターでの情報掲示やテーブルの利用方法等々について知恵を出し合い準備をしているところです。こうしたら良いのではといったご意見がございましたら是非スタッフにお寄せ下さい。お待ちしております。（石井）

センターに関わり、2 年が経とうとしています。「住民」から「市民」へと変わっていくこと、誰かに依存するのではなく、自発的に地域の問題解決に取り組むこと。わたしたちの身体が、ケガをしたときに自然と治癒していくような「機能」こそが市民活動だと思っています。来年度は新たなセンターでお目にかかりたいと思います（プロジェクトマネージャー・加納）

発行者・所在地　鎌ケ谷市市民活動推進センター（鎌ケ谷市富岡 2-6-1　生涯学習推進センター（まなびぃプラザ）1 階）
ＴＥＬ / 047-401-0891 ＦＡＸ / 047-401-0892　Web / http://www.collabo-kamagaya.jp/ ／ Email / sikatu@city.kamagaya.chiba.jp